

平成30年度 第3回 平塚市図書館協議会 会議記録（要旨）【公開用】

開催日時	平成31年2月22日（金）14時00分～15時50分
開催場所	平塚市中央図書館3階ホール
出席者	委員 竹之内 禎 会長 小林 利幸 副会長 湊 敬実 委員 跡部 左恵 委員 河野 亜希 委員 事務局 高橋 社会教育部長 小林 中央図書館長 本名 北図書館長 宮脇 西図書館長 佐伯 南図書館長 高橋 管理担当長 杉山 管理担当主査 菊坂 奉仕担当長 平原 奉仕担当主査
欠席者	中野 友香 委員
傍聴人	7名

議 事

（1）今期テーマ「図書館の運営体制の検討」について

ア 移動図書館「あおぞら号」のあり方の見直し

（ア）移動図書館「あおぞら号」の東海大学への巡回体験

事務局から資料の説明を行った。

本市「民間活力の活用に係る具体的業務の取組方針について」の中で移動図書館について、現状の利用状況や課題の把握、費用対効果等からその在り方を見直すこととなった。平成30年7～8月に、県内他自治体での実施状況や移動図書館を廃止した自治体への調査を実施した。同年10月には、利用者及びウェブサイトでのアンケートを実施した。平成30年度第2回図書館協議会では、そのアンケート結果等を報告した。「大学図書館と市立図書館では、蔵書の種類が大分違うので、東海大学へも移動図書館車が巡回してくれればと考える。数ある要望の一つとして加えていただきたい。」等、委員から多くの意見、御要望をいただいた。

それを受け、平成31年1月16日（水）に地元東海大学で司書課程を学ぶ学生さんに移動図書館を見学していただく機会を設けることができた。その中で、学生さんの視点で移動図書館の将来を考え、意見やアイデアをいただくことができた。今後の移動図書館の運営の参考にさせていただきたいと考えている。また、地域的にみても東海大学を一つのステーションにするというのもニーズがあるのではないかと考えている。

【 会 長 】 今回、東海大学3号館周辺に駐車したが、その近くの東門を出ると新しく開発された宅地が広がっているエリアとなっている。大学を一つのステーションとするのも可能性があるかもしれないとのことだ。

（イ）移動図書館「あおぞら号」のあり方の方向性

事務局から資料の説明を行った。

移動図書館のあり方については、検討を重ねた結果、移動図書館単独で結論をだすのではなく、中央図書館の窓口委託や地区図書館の指定管理者制度の導入といった民間活力

の活用のほか、公共施設の個別施設等と合わせ、移動図書館を含めた平塚市図書館全体として今後どのように運営していくのか、引き続き検討していく必要があるとの結論に至った。昨年度策定した「平塚市図書館サービス方針」に基づき、移動図書館のあり方を、短期的、中期的、長期的にわけ、取り組めることを整理し、平成31年度から短期的取組から着手し、総合的に検討していくことになった。

については、移動図書館に限らず、平塚市図書館全体を捉えてどのように運営していくべきか、広く御意見を頂戴し、今後の取り組みの参考にさせていただければと考えている。

【副会長】 移動図書館の利用者アンケート結果を見ると、9割の方が自宅等から10分以内の範囲で徒歩や自転車を利用している。その距離に図書館があれば移動図書館の必要がないということだが、平塚市の規模的にそれは難しい。前回も話題にしたが、平塚市の4館体制というのは、県内で見ると限りにおいては、充実した図書館サービスを提供していると言える。加えて移動図書館サービスも提供していることは、さらに良いと思う。

しかし、公共サービスである以上、費用対効果を常に検証する必要がある。移動図書館サービス全体の必要性については時間をかけて検討すべきだと考える。移動図書館サービスを続ける中で、現在提供している図書館全体のサービスを見直し、新しいサービスの展開等もあわせて、ある程度時間をかけて検討してほしい。

【会長】 東海大学の巡回体験の際には、37名中2名しか移動図書館を利用した経験がないとのことだったので印象があまりつかめなかったが、中学生の様子はいかがか。

【委員】 前回図書館協議会の際、小学校では移動図書館が大変人気があるとのことだったが、中学生は部活動中心に生活しているので、移動図書館を利用することも少なくなってくるようだ。少なくとも、中学生、高校生の中で移動図書館が話題にできることはない。子どもたちが、成人し、子育て世代に至るまで、児童期に得た経験や印象をどのように繋いでいけるかということを考える必要がある。

【委員】 先ほどの東海大学の学生さんの意見に、「子どもの頃に本に触れあうことが大切である」とあったが、学校の図書室とは違う、移動図書館という空間で子どもたちが本に出会う経験は貴重だと思う。中学生になると、図書室で本を借りる子どもも減ってくるのが現実なので、移動図書館という体験を子どもたちが面白いと感じ、本に触れるきっかけとなることもあるかもしれない。移動図書館が中学校へ行くという取り組みも、今後の展開に入れていただけたら良いと思う。

【副会長】 県内でも移動図書館の巡回場所として中学校をステーションにしている例はあまり聞かない。

【事務局】 平塚市では、一校だけだが中学校へ下校の時間帯に巡回しているが、生徒さんが利用することは少ない。

【委員】 小学校へ巡回する場合は、授業中か。

【事務局】 移動図書館全体のスケジュールと学校の状況を加味し、昼休みの時間帯か下校時間帯を設定している。下校時間帯だと、ゆっくり利用するこ

	とはできるが、学年によって下校時間が異なり、全ての学年の下校時間に合わせることは難しいという面もある。昼休みの時間帯だと集中して短時間で利用していただいているようだ。
【委員】	返却するスケジュールを組んで再度訪問するのか。
【事務局】	年間でスケジュールを組んでいる。
【委員】	子どもが借りると思うが、きちんと返却できているのか。
【事務局】	必ずしも移動図書館へ返却しなければならないという訳ではなく、各図書館や公民館の返却ポストへも返却することができる。親御さんが返却したりする場合もあるようだ。
【会長】	以前も議題にあったが、返却できる場所がもっと増えると良いと考える。
【委員】	全ての公民館へ返却することができるのか。
【事務局】	回収するための配送作業やそれらにかかる予算等の問題から、全ての公民館へは返却できない。主に移動図書館が訪問している地域の近くの公民館や駅前を中心に返却ポストを設置している。
【副会長】	平塚市が駅前に設置していることは、他の自治体と比べても充実していると言える。
【委員】	近所の公民館にも返却ポストがあると便利だと思う。
【委員】	返却図書の回収作業は、官公庁の文書をやり取りする逡送便と一緒に行うのは中身の性質上、一緒に行うことは難しいか。
【事務局】	現状難しいかもしれない。

イ 民間活力の導入に向けた進捗状況

事務局から資料の説明を行った。

「民間活力の活用に係る具体的業務の取組方針」の中では、平成32年度に中央図書館窓口業務委託、平成34年度に地区図書館3館へ指定管理者制度を導入する方針となっている。現在、平成32年度に予定されている、中央図書館窓口業務委託の実施に向けて準備を進めており、今年度は業務の精査等を行い、春頃までには仕様書を固め、秋から冬にかけてプロポーザル方式にて業者選定を行う予定である。委託する業務については、窓口での定例的な業務を事業者任せ、事業の企画・立案や各施策の方針などの検討、地域資料に関することなどの事務を職員に集中させていきたいと考えている。

【委員】 ボランティアの立場から言うと、図書館が民間へ委託されることを不安に感じている方が多い。初めての試みなのでやってみないとわからないことが多いとは思いますが、平塚市は各中学校区で子ども読書活動推進協議会を立ち上げ、多くの図書ボランティアが活動しているので、ボランティアが今までやってきた活動がうまくいかなくなるようなことが起きてしまえば非常に勿体ないと思う。委託の業者が図書館に入ってきて、今までボランティアがやってきた活動が継続できるように、図書館としてうまくパイプ役を担ってほしいと思う。

【事務局】 平塚市では、ボランティアの方を中心に子どもたちに多くの読書活動を提供していただいております、図書館としても感謝しています。ボランティ

	アの方々と協力して、今後も子ども読書活動を推進していくことは非常に大切なことだと考えているので、業者への仕様書などに、ボランティアとの関係が維持されるように示していきたい。今までボランティアの方が活動されていることは継続して行っていけるようにしたいと考えている。
【 会 長 】	民間への業務委託について、不安に思うことは明確にし、事務局に伝えてほしい。ボランティアの図書館活動への参加について、今後も確保できるようにこの図書館協議会の場でもお願いしたい。
【 事 務 局 】	各中学校区の子ども読書活動推進協議会については、事務局は引き続き中央図書館直営となる。ボランティア活動については今までと全く変わらないと考えていただきたい。
【 会 長 】	中央図書館と地区図書館では民間委託の内容も違うと思うので、今後市民に分かりやすいように情報提供をお願いしたい。
【 委 員 】	業務委託は窓口の人が変わるということか。
【 事 務 局 】	図書館では現在、正規職員、嘱託職員、臨時職員で業務を行っているが、今後、正規職員については、窓口業務ではなく政策的な業務や事業を実施し、窓口業務について民間へ委託することを考えている。実際に窓口業務に就く人は事業者によって変わってくる。
【 委 員 】	窓口業務に就く人の基準はないのか。
【 事 務 局 】	今後業者への仕様書で基準を定めていくことになる。
【 副 会 長 】	移動図書館については引き続き直営を維持されるということだが、図書館業務の全てが民間委託に馴染む訳ではない。今回は窓口業務を民間委託するとのことだが、まず、図書館の根幹業務とは何か明確に示してほしい。それを補助する業務については、様々な要因から民間委託を導入せざるを得ないということだと思うので、まずは図書館の業務内容を再度確認してほしい。プロポーザル方式で業者を選定すると先ほどの説明にもあったが、コストありきで業者を決定するのではないという部分においては安心している。
【 会 長 】	他市の事例についても研究し判断していただきたい。

(2) 事務局からの報告事項

ア 平塚市図書館設置70周年記念事業 実施状況

事務局から資料の説明を行った。

平塚信用金庫様から御寄贈いただいた「読書通帳」を中学生以下のお子さんに配付中である。その他、平塚信用金庫様からは、児童図書を全館合わせて61冊を御寄贈いただき、今年度で6回目となり、貸出開始は3月中旬を予定している。「本の福袋」については、利用者の声として、ほぼ2日で終了したことから、「借りられなくて残念」、「来年度もやってほしい」、「借りた本が良い本だったので貸出期間を延長したい」等があった。「過去10年間のリクエストベスト10」として、現在中央図書館貸出室・こども室で本を展示している。「図書館の思い出募集」については、11月から各館で順次展示している。

イ 平成30年度平塚市子ども読書活動推進フォーラム 実施報告

事務局から資料の説明を行った。

昨年度までは年1回、中央公民館で絵本作家等をお招きして実施していたが、今年度は、様々な対象者に、より読書の楽しさを知っていただき、来館していただくきっかけ作りを目的として、図書館を会場として4回実施した。昨年度までに比べて参加者数は少なくなったが、働きかけが弱かった小学校高学年、中高生、大人を対象を広げて開催し、参加者がより読書の楽しさを感じていただくことができたと考えている。また、今まで図書館をあまり利用していない方にも参加していただき、図書館に来ていただくきっかけになったようだ。来年度については、今後企画をしていく予定で、より多くの市民の方に読書の楽しさを知っていただけるようなフォーラムを開催したいと考えている。

ウ 平成30年度平塚市図書館体験型図書館イベント 実施報告

事務局から資料の説明を行った。

市民にとって身近な図書館で健康増進を図るきっかけとするとともに、図書館で所蔵するランニングに関する資料を知る機会とすることを目的として開催した。講師による講義、図書館員からの資料紹介及びランニング・ウォーキング・エクササイズを行ったが、アンケートでは、参加者全てから「よかった」「まあまあよかった」の回答を得られた。講義はわかりやすく知識を得られ、資料紹介ではリストの配付で読書欲求が高まったようであった。実技は、エクササイズやストレッチを随所に挟んだことが参加者の満足につながったようであった。回答者14名中9名から次回も実施してほしいという意見が寄せられた。参加者の満足度が高い点、イベントの継続開催の希望が多い点、そしてランニングに関する情報源として本や雑誌を選択した人が少なかったという点からも、今後も図書館でランニングイベントを開催していくことが望ましいと考える。そのためにも、事業の予算を確保し、スポーツの実施や健康の維持という身近な課題を図書館でも解決できるように働きかけていきたい。

【副会長】 募集の媒体を教えてください。

【事務局】 フォーラムについては、広報、図書館ホームページ、チラシやポスターを各施設に配架・掲示して募集した。一部タウン誌にも掲載された。

【副会長】 実際に参加された方は、どういう媒体を通して応募されたか確認されたか。

【事務局】 広報を通じた申し込みが多いようだ。

【副会長】 今回フォーラムは、それぞれピンポイントで対象を絞っているのですが、参加してほしい人にアピールする方法もそれぞれ変わってくると思う。きめ細かい募集の方法を検討していただきたい。県立図書館でイベントを実施する際には、どういった媒体でイベントを知ったかアンケートで聞き取るようにしている。その結果によって、チラシを少なくしたり、SNSで発信する等募集の媒体を工夫している。そのことで、集客に繋がることもあるので、検討をお願いしたい。

【事務局】 ランニングイベントの際には、スポーツの情報サイトへも掲載した。

【副会長】 ランニングイベントは、どの程度ランニングの経験がある方が参加されたのか。

【事務局】 30分程度軽いランニングができることを条件として募集した。普段

	全く運動していない方からフルマラソン経験者まで幅広い層の方が参加された。
【副会長】	事業継続の要望が数多くあったとのことなので、ハードルが高くなるかもしれないが是非続けていただければと思う。
【委員】	平日の実施でなければ難しいのか。
【事務局】	休日の実施となると従事する職員が少なくなるという関係もあり、まずは平日に実施させていただいた。
【会長】	休日の方が集客できるのではということではないか。
【委員】	仕事をされている方だと、平日の午前中に参加できる方は少ないと思う。
【副会長】	県立図書館でも、イベントをいつに設定して開催するか悩ましい問題である。土日に設定すれば確かに応募者は増えるが、今度は逆に抽選となってしまい、抽選に漏れた方からは平日に実施してほしいという声をいただくことがある。今回初めての試みとして、平日を設定したのは賢明な判断だったかもしれない。
【会長】	2時間半で、座学と実技を行い、非常に濃い内容のイベントとなっている。大変良いイベントだったのではないか。

(3) 今期の図書館協議会の提案、検討事項のまとめ

事務局から資料の説明を行った。

今期の図書館協議会の提案、検討事項として、「喫煙所の撤去」、「新しいキャラクターの提案」、「大学講師を招いた講座の要望」、「親子参加型のイベントの要望」、「他機関と連携」、「自習スペースの確保、物品販売、カフェ等の設置など施設への要望」、「中央図書館の1階壁面飾りつけ」、「子どもへのおまけ」、「駐車場無料時間の延長」、「図書委員のサミットの開催」、「図書館まで利用者を運ぶサービス」、「朗読や音源の提供サービス」をまとめて報告した。対応させていただいた御提案と、すぐに実現が難しい御提案もあるが、今後も事業を進める中で実現できる提案はないか検討していきたいと思う。

【会長】	平成29年度第1回図書館協議会の際に、喫煙所の撤去を要望し、第2回図書館協議会の際にはすぐに喫煙所を撤去したという事務局からの報告をいただき、大変印象的だったと記憶している。様々な提案を迅速に対応していただけたことに感謝する。
------	---

(4) 次期図書館協議会への申し送り事項等

【副会長】	前期図書館協議会からの申し送り事項にもあったが、「国立国会図書館等との電子資料閲覧サービス」については、既に導入していただいている。今後、国立国会図書館の資料に限らず、電子資料、電子書籍の導入も検討していただきたい。近年、電子資料、電子書籍も増えてきており、公立図書館でも少しずつ導入されている。来館しなくても図書館の資料に触れる機会として、電子資料、電子書籍のサービスの導入を引き続き検討していただきたい。
【委員】	夏休み前など、大学の先生が読書感想文や作文の書き方を教えてくれるような講座があれば大変助かるので、是非お願いしたい。

【委員】	<p>2年間の振り返りの報告が事務局からあったが、提案してきた内容について、実施できることは迅速に対応していただいた事務局の姿勢に感謝している。どの項目を申し送りにして欲しいというよりは、2年間遠慮なく発言できたこの会の雰囲気は今後も継続していただければと思っている。</p>
	<p>また、事業を実施する際には、財政的に厳しい中であるからこそ、広報の仕方や実施のタイミング等様々な工夫をしていただきたいと思います。例えば、昨年6月に全仏オープン女子テニスで平塚出身の穂積選手が準優勝して話題になったが、その時期にテニス関係のイベントを実施すれば多くの集客が見込まれると思うので、そういったタイミングは逃さないでほしい。</p>
	<p>最後に、小中学校では、毎年4月に学校図書館の使い方のオリエンテーションを実施しているが、そのような機会に国、県、市の図書館の繋がりと利用方法に触れると良いのではないかと。そういったことを、図書館司書の勉強会や司書教諭の勉強会に話題にしていくと、若年層の利用にも繋がっていくと思う。</p>
【委員】	<p>平塚市子ども読書活動ネットワーク運営委員会が発行している読書通信「LINK」18号を本日配付させていただいたが、その中で市内の地区図書館のステンドグラスを紹介させていただいている。普段近所になれば中々足を運ばないかもしれないが、各館それぞれ特徴があり、その魅力もアピールできれば良いと思う。また、LINEスタンプについては、使用していくと少し飽きてしまうこともあるので、第2弾を期待している。</p>
【会長】	<p>調布市立図書館では、第2弾のLINEスタンプを販売している。学生からはスタンプの数が少ないという意見もあった。</p> <p>話は変わるが、図書館協議会以外で利用者や市民の意見を聴く意見箱のようなものはあるのか。</p>
【事務局】	<p>館内に意見箱を設置している。</p>
【会長】	<p>いただいた意見を公表したりしているのか。</p>
【事務局】	<p>館内に掲示したり、本日配付した図書館情報誌きいぷで紹介したりしている。</p>
【会長】	<p>今後の運営体制については、市民の関心度も高いと思うので、こまめにわかりやすい情報提供をしていただきたい。</p>
【委員】	<p>普段、図書館のホールは開放されているのか。</p>
【事務局】	<p>ホールは有料で貸し出しているほか、毎週日曜日に映画会を開催している。その他事業でも時々ホールを使用しているが、それ以外では特に使用していない。</p>
【委員】	<p>図書館のホールなどを使って、感想文の書き方や自由研究についてイベントを実施するのは大変有意義だと思う。個人的にも、様々な場を設けるということの重要性を感じている。近年家庭学習の役割を果たす場が各地域で求められているが、子どもたちの学習を支援する場として、図書館のホールなど使用できないかとも考えている。</p>

【 委 員 】	中央図書館の職員の接客について、昼休みの時間帯であることを理由にリクエストを受けていただけなかったり、本の検索をお願いしてもきちんと探せなかったりする状況があるので、注意していただきたい。
【 副 会 長 】	県立図書館でも、ホテルサービスの接客研修を実施したりしているが、個人の接客サービスの向上を図るのには苦勞している。
【 委 員 】	業務委託になったらもっと教育された方が窓口業務に就いて頂けるのではないかと期待もしている。
【 委 員 】	先ほど利用者の声を聴く意見箱の話があった。何でも書いて良いということだが、接客のこと、施設のこと等項目立てしてあげると利用者も書きやすいかもしれない。
【 会 長 】	一年間の利用者の声をまとめて冊子にしている図書館や掲示している図書館もあるようだ。
【 副 会 長 】	投書に対し、直接回答を求めるか否か、公表して良いか否か予め確認して公表している図書館が多い。
【 会 長 】	次期図書館協議会への引き継ぎ事項をまとめたいと思う。まず、今期でも協議してきた「図書館の運営体制の検討」は引き続きお願いしたい。また、「図書館増収策の検討」については、ぶくまるのLINEスタンプ販売ということで、今期図書館協議会で一部実施したが、引き続き様々な手法を検討していただければと思う。先ほど第2弾のLINEスタンプをとという要望もあった。また、本の流通をめぐる状況や読書形態の変化も視野に入れ、国立国会図書館以外の電子資料や電子書籍の提供も視野に入れていただきたい。その他、大学と連携した読書感想文の書き方の講座の実施等も引き継ぎ事項に追加できればと思う。
【 委 員 】	科学部門の講座は東海大学等でも毎年実施していると思うが、文系部門の講座は実施されていないように思う。本を読むだけでは文章を書くことはできないので、重ねてお願いしたい。
【 会 長 】	2年間の任期最後の図書館協議会であるが、我々の提案に迅速に対応いただけたことに感謝申し上げます。今後もよりよい図書館づくりに繋いでいければと思う。

閉 会